



柳ヶ瀬エリア プラットフォーム Vision Meeting Report #2

#1 7.15.Wed./ #2 8.19.Wed. / #3 9.16.Wed. / #4 10.7.Wed. / #5 11.4.Wed. / #6 12.2.Wed.

ビジョンミーティングとは

エリプラに関わる全ての人、事業者が参加できる広く開かれた場とし、事業会議での意見や取り組みを共有し、その他の専門的な事項も含めビジョンの方針、盛り込む内容を議論します。議論を深めつつ進めるため、各回の議題や論点は戦略検討委員会で整理し、提案します。ここでの議論の内容を取りまとめ、推進会議を経て、柳ヶ瀬エリアのビジョンを策定します。

当日のプログラム

第2回ビジョンミーティング 開催概要

日時：2026年8月19日（水）19：00～21：00

会場：ウゴクテ

参加者：30名

テーマ：第1部 エリアとして大切にしたいこと

第2部 柳ヶ瀬が目指す姿のイメージ共有



第1部：エリアとして大切にしたいこと	第2部：柳ヶ瀬が目指す姿のイメージ共有
19：00 前回の振り返り	19：50 今回の議論のポイントのご説明2
19：10 今回の議論のポイントのご説明1	20：05 グループ議論2
19：20 グループ議論1「柳ヶ瀬らしさの構成要素」	「柳ヶ瀬が目指すイメージの共有」
19：40 全体共有	20：30 全体共有
	20：40 アドバイザーの方からのコメント

エリアビジョン策定の進め方（予定）

柳ヶ瀬エリアのビジョンは以下の流れで広く多様な方々との議論を積み重ね、9月末には骨子を、12月には本編を取りまとめる予定で取り組んでいきます。

第1回 7/15水	> エリアビジョンの意義の共有 ・検討の前提についての認識共有 ・これまでのビジョンの経緯と概要	第4回 10/ 7水	> 個別テーマの具体的な検討 ・各要素の基本方針の検討 ・各要素の取り組み内容の検討
第2回 8/19水	> ビジョンの構成案の検討 ・エリアとして大切にしたいこと ・柳ヶ瀬が目指す姿のイメージ共有	第5回 11/4水	> ビジョンの本編案の検討 ・各要素の取り組み内容の検討 ・取り組みの仕組みと体制の検討
第3回 9/16水	> ビジョンの骨子案の検討 ・目指す姿を構成する要素の共有 ・各要素のあるべき姿と現状の共有	第6回 12/2水	> ビジョンの本編案の検討 ・取り組みの仕組みと体制の検討 ・取り組みのステップの検討

ビジョン骨子 完成

ビジョン本編 完成

次回予告

#3

柳ヶ瀬エリア
プラットフォーム
ビジョン
ミーティング

日時：2026年9月16日（水）19：00～21：00

会場：ウゴクテ すこやか交流室1、2

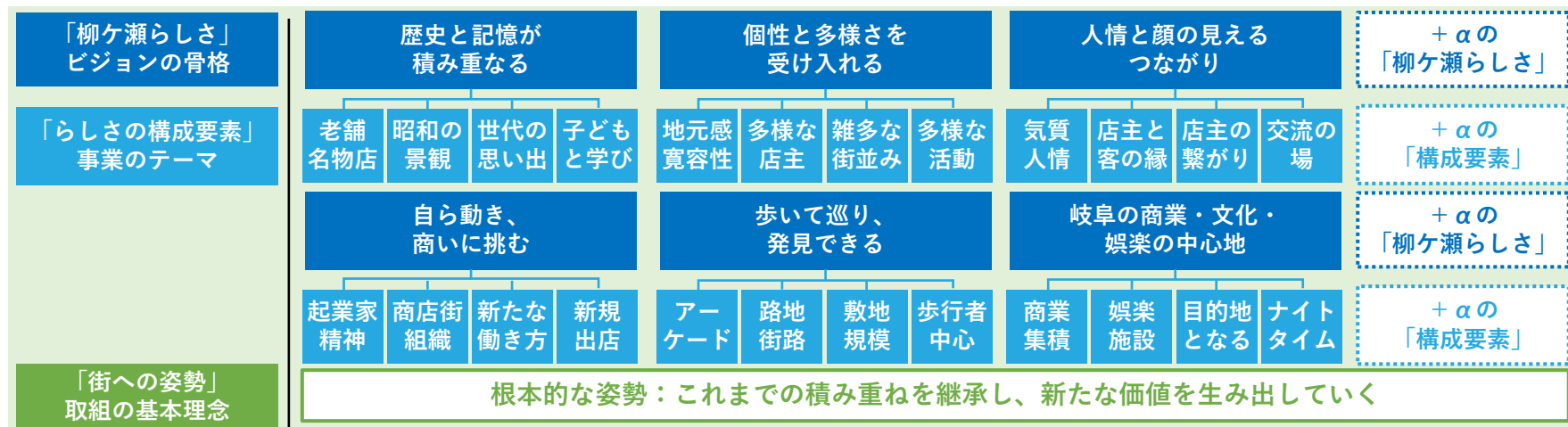
テーマ：柳ヶ瀬エリアの目指す姿を構成する要素

柳

ヶ瀬らしさとその構成要素（第1回議論のまとめ）

第1回のビジョンミーティングでは、参加者の皆さんと柳ヶ瀬エリアの「残していきたい・大切にしたいもの・こと・ひと」と「変えていきたい・生み出したいもの・こと・ひと」について考えました。第1部では、第1回のビジョンミーティングで参加者の皆さんからいただいたご意見をもとに、「柳ヶ瀬らしさ」を6つの骨格に整理しました。また、それぞれの「らしさ」が、どのような人、場所、活動などによって支えられているのかを構成要素として整理し、参加者の皆さんと共有しました。

【「柳ヶ瀬らしさ」と「らしさの構成要素」の構造化】



<グループ議論であがった柳ヶ瀬らしさを捉え直す新たな視点>

- ・路地裏や空間が醸し出す情緒と「しっとりとした情緒感」：
アーケードや開渠（アクアージュ）、元々水辺であった土地の歴史も含め、路地裏が持つ落ち着いた静けさや奥深さも、他にはない大切な柳ヶ瀬の味わい。
- ・多様なカルチャーが同居する「世代を超えた文化の層」：
歌謡曲やジャズといった伝統的イメージだけでなく、若い世代のストリートカルチャーやクラブ文化なども根付いており、新旧の文化が重なり合う面白さがある。



エ

リアをつなぎ、目的地をつくる

第2部では、「エリアをつなぐ（広域的・空間的な視点）」と「目的地を増やす（機能・コンテンツ）」という2つの視点から、柳ヶ瀬が目指す将来像のイメージを共有しました。その後、まちの点（お店や人）を線（街路や水路）でつなぎ、面としての魅力を高めていくための議論を行いました。いただいたご意見をもとに、次回以降のビジョンミーティングで考える内容を組み立てていきます。

点から線、そして面へ

魅力的な店や人という「小さなツボ(点)」を、街路や水路といった「線」でつなぐことで、まち全体の「面の賑わい」をつくっていく。



<グループ議論であがった「エリアをつなぐ」ための視点>

- ・水路や地下水を活かした「涼」を感じる水辺空間の再生
- ・暑さ対策となる木陰の創出と緑豊かな街路や歩行環境の整備
- ・弥八地蔵や金神社など歴史資源のストーリーで巡る回遊動線
- ・周辺施設（市役所・十六銀行新本社等）で働く人々を引き込む連携
- ・岐阜駅や金公園・つかさのまちなど周辺エリアとの広域的なネットワーク

2つの大きな軸の交差点

東西につなぐ「環境軸【育てる緑】」と、南北をつなぐ「連携軸【つなぐ緑】」の交差点として柳ヶ瀬を位置づける。



<グループ議論であがった「目的地を増やす」ための視点>

- ・誰もが気軽に立ち寄り・長居できる拠点の整備
- ・快適な滞在を支えるトイレ・ベンチ・駐輪場などインフラの拡充
- ・「面白い人」や体験に出会えるコンテンツ・子どもの居場所づくり
- ・まちで暮らし働く人々を支える日常機能とホスピタリティのある店舗誘致
- ・新規出店や挑戦の広がりといったポジティブな事実・情報の可視化